

## 【授業改善推進プラン 2年 国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出漢字への学習意欲が高い。</li> <li>○問題文の読み取りができない。</li> <li>○文章中から読み取る力が不十分。</li> <li>○促音の抜けや「を・へ・は」と「お・え・わ」の間違が多い。</li> <li>○音読学習への意欲が高い。</li> <li>○文章のまとまりや構造を意識せず書いてしまう。</li> <li>○漢字が身に付かない児童もいる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習の言葉を正しく使えるように児童が活用する場面の設定が不十分である。</li> <li>○自分の気持ちを分かりやすく伝えられるように表現力育成に向けた手立てが必要になる。</li> <li>○漢字を定着させるために反復練習を徹底させる必要がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字の小テストを繰り返し実施し、定着を図る。</li> <li>○他教科で学習したことを国語と合科関連させて文章で表す。</li> <li>○ペアトークを中心に気持ちの表出を図る。</li> <li>○ICTを活用して物語の情景を共有し、読み取りを丁寧に行う。</li> <li>○ICTを活用して、学級での物語の読み取りを可視化していく。</li> <li>○音読活動を通して、文章理解を深めさせる。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書活動の推進を継続していく。</li> <li>○文章の中での主語・述語をおさえる。</li> <li>○言葉の意味を確認する時間を設ける。</li> <li>○聞かれていることを確認する場を設ける。</li> <li>○「その」「あの」などが何を指しているのかを確認する。</li> </ul>

## 【授業改善推進プラン 2年 算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に学習に取り組んでいる。</li> <li>○繰り上がりのある計算の定着が見られる。</li> <li>○繰り下がりのある計算が苦手な児童が多い。</li> <li>○1年生の学習につまずきが見られる児童もいる。</li> <li>○考えを書き表したり、説明したりする力が不十分。</li> <li>○計算時に指を使わないと難しい児童もいる。</li> <li>○数の概念の定着に時間がかかっている。</li> <li>○問題文の理解ができておらず、質問に対して答えられない。</li> <li>○単位忘れが多い。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事前テスト以外での習熟度の見取り方に改善の余地がある。</li> <li>○学び合いの質を高める手立てが不十分である。</li> <li>○新しいデジタル教科書に使いづらさがあり、研修などを通して活用の幅を広げなくてはならない。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題文に出てくる数や問われていることに対して線を引かせ、何に答えるのかを明確にさせる。</li> <li>○各時間に前時の振り返りを取り入れ、既習事項の定着を図る。</li> <li>○ICT機器を活用し、考え方の共有を図り、学び合いを深める。</li> <li>○具体物を取り入れ、実感の伴う学びとする。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書の文言、文章題を丁寧に読み取り、答える内容を押さえる。</li> </ul>

## 【授業改善推進プラン 2年 音楽】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○主体的に授業に参加できている児童が多い。</li><li>○中には、気持ちが落ち着かず、リズム遊びなどに参加することが難しい児童もいる。</li><li>○鍵盤ハーモニカで正しい音を出すことができる児童が多い。</li><li>○鍵盤ハーモニカを正しく指づかいで演奏することが難しい。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○コロナ禍で制限がある中での鍵盤ハーモニカや歌唱の指導方法を検討する必要がある。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○児童同士の間隔を空け、換気を十分に行いながら、区のガイドラインに沿っての指導を引き続き行う。</li><li>○サポートできる教員がいるときは、個別の対応をする。</li><li>○気持ちが落ち着いたときに戻れるように、順番などを配慮する。</li></ul>
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>○教師による活動の指示を行う際に、主語や述語が明確になるように話したり、板書したりする。</li></ul>

## 【授業改善推進プラン 2年 図工】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多くの児童が作業に集中して取り組むことができる。</li> <li>○多くの児童が、絵の具やクレパスなどの用具を正しく使い、作品作りに励んでいる。</li> <li>○はじめの説明をしっかりと聞けない児童がいる。</li> <li>○発想力や工夫に課題がある。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品を飾れる場所が少ない。</li> <li>○児童への評価をもとに教員の指導をよりよいものにしていくサイクルを確立するべきである。</li> <li>○教材の提示仕方や説明方法の工夫に改善の余地がある。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鑑賞できる場と時間を確保する。</li> <li>○具体物の提示や実物投影機を活用し、作品を作る工程を視覚的に提示する等、児童に分かりやすく課題を説明する。</li> <li>○児童のイメージが広がるような発問を工夫する。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工夫したところ、タイトルを付けた理由など、自分の作品について説明をする。</li> <li>○友達の作品の説明を読み、内容を理解する。</li> <li>○教科書のテーマや板書のめあてや手順などをよく読み、理解して、作品作りをする。</li> </ul>

## 【授業改善推進プラン 2年 生活】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○植物の観察を行う際に、国語の「かんさつしたことを書こう」で学んだ、色や大きさや数などを書くことや、大きさや形が似ている物と比較して書くことを活用することができていた。</li><li>○観察した植物の様子や町で見てきたものなどを絵で表すことはできるが、文で書くのが苦手な児童がいる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○文で書き表すことが苦手な児童に対しての支援方法の向上が必要である。</li><li>○児童の多様な思いや願いに対する十分な指導方法を考えていかなければならない。</li><li>○児童の気づきの質を深めるための手立てをより充実させていく必要がある。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○具体例を示して、書きやすくなるように支援する。</li><li>○気持ちや考えを書きやすいワークシート。</li><li>○ワークシートをポートフォリオ化し、気づきの深まりを自覚させる。</li><li>○児童間の交流を活発化させ、対話的な学びを多くする。</li></ul>
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>○示されたルールを読み取り、全体で確認した上で活動に取り組む。</li><li>○自分の気持ちや考えを主語、述語に注意して表現する。</li></ul>

## 【授業改善推進プラン 2年 体育】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>○体を動かすことが好きな児童が多い。</li><li>○整列が遅い。</li><li>○できない技にも挑戦しようとする。</li><li>○教え合うなど協力して取り組むことができる。</li></ul>
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○休み時間などの制限があり、日常的にできる長縄などが難しい。</li><li>○運動不足からの基礎体力の低下により、教員の求める基準とのズレが生じる事があるため、児童の実態把握を徹底していく。</li></ul>
授業改善にむけての具体的方策	<ul style="list-style-type: none"><li>○活動時間を長く確保するために、準備時間を短くしていく。</li><li>○ワークシートや掲示物などを活用し、技能の向上につながるようにする。</li></ul>
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none"><li>○示されたルールを読んで、活動に取り組む。</li><li>○ワークシートや掲示物に示された図をもとに、イメージをもって運動に取り組む。</li></ul>

## 【授業改善推進プラン、2年 特別の教科 道徳】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発言によって自分や登場人物の気持ちを伝えることができる。</li> <li>○考えや気もちなどを具体的に書く能力に差がある。</li> <li>○道徳教材の内容を理解しているが、実際に行動に移せない場面が見られる。</li> </ul>
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分事として捉えることに難しさを感じている児童がいるので、考えを深められる授業の流れを構築していく必要がある。</li> <li>○自分事として捉えるために、自分の経験を振り返らせる指導を意識していく。</li> <li>○他児の考えに対し耳を傾け、自身との違いに気付けるように対話的な授業を心掛け、より多くの場面を設定していく。</li> </ul>
<p>授業改善にむけての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考えたいと思えるような主体的な学びになるための導入を行う。</li> <li>○登場人物の気持ちに寄り添うための発問をする。</li> <li>○課題を考えることを、自分と重ねて考えることができるようにするための工夫。</li> <li>○ロールプレイングを通して、相手の立場に立って考えさせる。</li> </ul>
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場面から道徳的価値を捉える。</li> <li>○教材文を読んで、登場人物の気持ちの変化を捉える。</li> </ul>